

仙台での子育てを応援する情報サイト「せんだいのびびくナビ」子育てに関するさまざまな行政サービス、施設情報、イベント情報など、子育てに役立つ情報を発信しています。ぜひ活用ください。→アプリもありです→

## 特別支援保育の充実

2024年4月1日からの利用に向けた一斉応募より、より重い障害のあるお子さんも、仙台市特別支援保育審議会委員会で集団保育が可能と認められた場合、対象となります。

## 医療的ケア児の支援

呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為が日常的に必要な「医療的ケア児」は、2023年1月現在仙台市内に157人と調査されました。把握の方法は定められていないので横割を指すことが必要です。2021年施行「医療的ケア児支援法」は、児童の健全な成長を図るとともに、その家族の離職の防止を目的としています。特別支援保育の要件が広がりましたが、医療的ケア児は別途要件があるので、必要な方が保育を受けられるようさらなる改善が必要と考えます。

## 児童館・児童クラブ

### ★遊戯室にエアコン設置 決定！

2023年第3回定例会の一般質問で求めていた、熱対策の遊戯室エアコン設置について2026年度までに計画的に全館の設置を進めること、設置までの間にリース機器等を入れることが決まりました。また「長期休業期間中の注文弁当配送モデル事業」「児童クラブの環境改善」「大規模児童館の職員体制強化」「入退館管理や保護者との連絡のICT化」も進められます。

- 児童館職員の処遇改善
- 福祉的対応力強化のための支援
- 一人あたり面積の拡充
- 児童クラブ以外の、本来の児童館の役割の自由来館である、こども支援・乳幼児親子支援等、引き続き求めています。





LINE



Instagram



公式ウェブサイト

のまたホームページ  
のまた公式LINE  
のまたInstagram



iOS



Android

App Store  
Google Play

## (仮称) こども誰でも通園制度

就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育施設を利用できる試行的事業が国に先駆けが始まります。また「1歳児受入推進」「きょうだい別園の解消」「保育サービス相談員の配置」「保育士人材確保対策」等が継続して行われます。

## 遊びの環境の充実

★プレイパークの普及を応援  
仙台市では、こどもの多様な体験活動や遊びの環境を充実させるために、2022年度は実証実験として公園や屋外・屋内を活用した各所単発のプレイパーク等の実施、2023年度はプレイヤーダーの普及啓発、継続して活動する団体へのスタートアップやスタートアップの運営補助支援をしてきました。



2024年度は、各所単発のプレイパーク等のさらなる実施や、プレイヤーダー養成、運営補助が継続して行われます。

## 仙台市議会 議会中継（録画） いのまた由美の議会質問は↓こちら



仙台市議会議員 いのまた由美  
お声をお聞かせください  
立憲民主党仙台所属。健康福祉委員会（健康福祉局・こども若者局・市立病院所管）副委員長、歴史まちづくり調査特別委員会 副委員長。

## みんなで話そう、市政のこと

## 仙台市議会議員 いのまた由美 議会報告



# ゆみコミ

2024年3月 16号  
太白区 子育て特集号

発行人：いのまた由美（太白区版）  
〒982-0801  
仙台市太白区八木山本町丁目36-7  
グランチェスタ八木山101

自分らしく生きられる、誰も一人にしない仙台を。

2024年第1回定例会は2月9日開会、3月14日閉会の日程で開かれ、計78件の議案審査が行われました。2024年度の一般会計予算は総額約6,481億円で、過去最大規模となりました。開会の冒頭で、郡市長は新年度の施政方針を表明しました。「ひと中心のまちづくりを世界に通じるステージへ」、持続可能で誰一人取り残さない「社会の包摂的成長“Inclusive Growth”」を実現するという考えのもと、「未来の担い手を育み、生き生きと学べる環境の充実」「都市個性を生かした賑わい・活力の創出とグローバルな魅力の発信」「安全・安心な暮らしを支え、自分らしく輝ける活躍の応援」の3つの施策の柱を掲げました。新規や拡充された子育て施策を紹介します。

## 2024年 当初予算 こども・子育て施策 一歩前進

### 妊婦健康診査費用の助成拡充

4月1日から、妊婦健康診査費用の助成額の引き上げと、助成回数が増えます。既に仙台市発行の助成券を持っている方は、再発行しなくても医療機関で対応されます。

|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| ＜助成回数＞            |                 |
| 14回→16回           |                 |
| (多胎妊娠の場合は27回→29回) |                 |
| ＜助成上限額＞           |                 |
| 初回                | 20500円 → 23500円 |
| 第2～第10回           | 6000円 → 6500円   |
| 第11～14回           | 8000円 → 8500円   |
| 第15,16回（新設）       | 8500円           |

### 産後ケアの充実

産後のお母さんは、ここからでも不安定になりやすいものです。仙台市では、宿泊・日帰り・訪問による「産後ケア事業」を実施しています。宿泊型は産後4か月未満、他は12か月未満まで利用可。事前に利用申請が必要です（初回電子申請可）。

2023年4月から、低所得世帯（住民税非課税世帯や生活保護受給世帯）の自己負担額が無料になります。

### パパの育児休業取得奨励金

男性の従業員が1週間以上の育児休業を取得した中小企業に奨励金を交付する制度ができます。2024年度中に詳細公表。

※中小企業に対する補助は5日以上の男性育児休業を対象とした国の「両立支援等助成金 出生時両立支援コース（子育てパパ支援助成金）」もあります。

仙台市ホームページで→  
男性向けの子育て支援  
情報をご紹介しています  
(こども若者局総務課)

2023年第一回定例会で、男性の育児参加促進のためのコミュニケーションプログラムを取り上げました。のびすく等で実施されています。

また、家族で話し合うツール「家事見える化シート」の普及活動をしているKaziプロジェクトの木村さんに、オンラインでお話を伺いました。Youtubeに動画があります。





